

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン4 (Gt)											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	鳥居 隼			実務経験	有	職種	ミュージシャン				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。 他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、ギターという楽器により強く興味を持ち、ギターを使って様々な楽曲や演奏スタイルに触れることで、ギタリストの視線から作曲・アレンジ力を養っていくことを目的とする。											
到達目標											
ギタリストとして必要な一般的な知識とテクニックを習得すると共に、ジャンルの壁を超えた作曲やアレンジ力も養う。 基本的なフォームからコードヴォイスングの押さえ方、左右の手の機能を把握しパターンを習得していく。 前期は基礎的なフィンガリングを主にコードヴォイスングを学んでいくことを目標とする。 後期はスケール、 ソロフレーズ等のメロディーワークを主としたレッスンによりインプロビゼーションの方法を習得することを目標とする。											
授業方法											
この授業では、チューニングの仕方、コードワークとメロディワーク、簡単なリズムトレーニングなどについて触れて行く。 エレクトリックギターとアコースティックギターの（学生の）それぞれの特性を最大限に打ち出せる技術の習得をする。 ギターパートのアレンジにも触れ、楽曲のスタイルによりどのようなパターンを構築すればいいかを理解できる能力を育成する。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、理由のない遅刻・欠席は認めない。また学生間、講師と学生とのコミュニケーション力向上のために、なるべく自己から発言する機会を増やして行く。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	バレーコード、シンコペーション その1										
第2回	バレーコード、シンコペーション その2										
第3回	Funk系16ビートなどジャンル感のあるコンピング その1										
第4回	Funk系16ビートなどジャンル感のあるコンピング その2										
第5回	コードリフの練習 その1										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン4 (Gt)	
第6回	コードリフの練習 その2
第7回	有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その1
第8回	有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その2
第9回	有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その3
第10回	マイナーペンタトニックスケール応用編（ブルーノート）その1
第11回	マイナーペンタトニックスケール応用編（ブルーノート）その2
第12回	コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その1
第13回	コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その2
第14回	コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その3
第15回	全体のまとめ

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン4（Key）											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉山泰			実務経験	有	職種	キーボーディスト				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識について学び、特に曲作りにおいて重要な役割を担うものです。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。											
到達目標											
この科目では、学生が鍵盤楽器の奏法を学ぶ事と、曲づくり、アレンジにおいて必要なことを鍵盤を使って学び実践して行く事を目標とします。基礎的なトレーニングから始め、音楽理論も加味したうえでキーボードの技術習得とともに作曲・編曲においても必要な知識を得ることを目標とします。サウンド面での分析も行い、ジャンル別による音色、奏法等細部にわたり作曲に反映できるように理解していきます。											
授業方法											
この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏技術、作曲、アレンジ技術を身につける。ハーモニー、リズムにおいてもパターンを習得し、あらゆる音楽に対応するキーボード技術を習得します。DAWにおける制作にもキーボードを使った入力を行うため、そのためのスキルを上げていくための知識・技術を習得していきます。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	鍵盤の押さえ方の基本を学び、脱力法を習得する										
第2回	伴奏の基本である、四分打ちを学ぶ										
第3回	四分打ちの応用パターンの作り方を学ぶ										
第4回	アルペジオ奏法の基本を学ぶ										
第5回	アルペジオ奏法を実践的なアプローチをどう生かすかの応用										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン4 (Key)	
第6回	スクエアな楽曲、主にロックなテイストの曲での伴奏法
第7回	16ビートのノリでの伴奏とグルーブの基本
第8回	ハネたビートでの伴奏法とノリの基本を学ぶ
第9回	ハネてない伴奏とハネてる伴奏の違いを学ぶ
第10回	ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ
第11回	ジャンル別の伴奏の違いについて学ぶ
第12回	コードとメロディーの関係性と、双方について
第13回	コードとメロディーの関係性と、双方について
第14回	実演の総復習
第15回	総復習

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
楽器レッスン4 (Vo)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	湯舟春菜			実務経験	有	職種	ヴォーカリスト				
担当教員紹介											
幅広い表現で世界観を作り出すシンガー。作詞作曲の業務経験もあり様々なCM、映画音楽の歌唱や楽曲提供を行っている。											
授業概要											
ボーカリスト、シンガーとしてのスキルを向上させる。1. 正しい発声法を学ぶことにより、ピッチコントロールがうまくできるようになる。2. 喉の筋肉を鍛え、喉や体の正しい使い方を学ぶことにより、長く歌っても枯れづらい喉を作る。3. リズムやグルーブ、声の出し方などのニュアンスを学び、表現力を身につける。											
到達目標											
自分の理想とするボーカリスト、アーティストに近付き、プロの現場でも通用する技術、姿勢を身につける。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業は基本的にはマンツーマンで、発生からそれぞれの生徒に合ったレッスン方法で指導していく。楽曲に関しては、基本的には生徒のやりたい楽曲で進めていくが、苦手な分野や克服したいポイントがあればその都度生徒に合った課題曲と一緒に考え、順庵精を持って指導していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グルーブワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
生徒が持つ個性を大切に、そこをどううまく活かしていくかを念頭に指導していく。各学生が目指しているところが違うため、まず到達点をどこにするのか(シンガーソングライターなのか、またそれはどういうスタイルのものか)等、細かくを密に話し合いながらレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	学生を数名選抜し、悩みなどをヒアリングした後、その解決法を考える										
第2回	母音の重要性について考える										
第3回	実際の曲中で母音について考え、また意識しながら歌う										
第4回	曲中での母音と子音の意識の持ち方の違い										
第5回	ボイストレーニングにおける音階練習										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
楽器レッスン4 (Vo)	
第6回	音階練習(♭ 2 つまで)
第7回	音階練習 (♭ 4 つまで)
第8回	♭ 4 つまでのスケール 5 つの発声音階練習
第9回	エクササイズの割り当て
第10回	トレーニングにおける音程音階を理解した上で適切な練習曲の選び方を理解する
第11回	任意の曲を正しい発声で歌う
第12回	音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとる練習
第13回	音程をしっかりと理解した上で、正しい音程をとる練習2
第14回	semi-occludedエクササイズの音声学的な解説 (リップバブル・ストローエクササイズなど)
第15回	トレーニング・メニュー (別紙参照)、エクササイズの割り当て